

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語 Communication I	2	1年I類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	BIG DIPPER: English Communication I (数研出版)		ユメタン0・ハンドアウトなど

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることができる。
2. ある程度のまとまりのある文章を読み、概要を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活での身近な話題や授業内での簡単な英語での説明・指示を理解することができる。
2. 読み上げられたフレーズや単語を聞き取り、正しく理解できる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	Lesson 1	・英文を英語の順番通りに読むことができる	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 授業に関連した指示がわかる。 (Classroom English 等) ・ つながる音、消える音を理解し、それらを意識して正しく発音できる	・ 担当者が授業内の指示等を英語で行い、その支持に応じた行動が取れる。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等のディクテーション	
	5		・トピックについての内容を理解できる				
	6		・発音記号（母音および基本的な子音）を理解する。				
			中間考査 Midterm Examination				
	7	Lesson 2	英文を英語の語順通りに読むことができる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 変化する音、聞き取りにくい短縮形の音を理解し、意識して発音できる。	・ 読み上げられた単語を書き取る等のディクテーション。	
		Lesson 3 Lesson 5					
		期末考査 First-term Examination					

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson 4	英文を英語の語順通りに読むことができる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ディクテーション、オーバーラッピング、シャドーイング練習を通して、まとまりある英文を聞き取ることができる。	・ディクテーション。
	10					
	中間考査 Midterm Examination					
	11	Lesson 7	大意を把握できる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・短い会話文を聞き取り、内容を理解できる。	・内容確認テスト、ディクテーション。
	12	Lesson 6 Lesson 9				
	期末考査 Second-term Examination					
三 学 期	1	Lesson 8	大意を把握できる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・短い会話文を聞き取り、内容を理解できる。	・内容確認テスト、ディクテーション。
	2	Lesson 10				
	3					
	学年末考査 Final Examination					

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

リーディング問題を解くためには英単語を覚えることは欠かせません。小テストを行いますので、自分に合った英単語の覚え方や学習方法を見つけ、まずは単語から確実に覚えましょう。各レッスンの内容にはSDGsに関連付けられた様々なトピックスがあります。海外の文化や歴史、多様性についても積極的に学びましょう。一見難しそうに感じても、自分の興味・関心のあるスポーツや芸術などのさまざまなものは、必ず英語と結びつけることができます。数をこなし、覚えるべきものはしっかり覚え、大学入試を含め自分自身の将来のために役立つ英語を、積極的に学びましょう。

リスニング問題が無難いと感じる理由は、発音が聞き取れず、スピードが速く感じるからではないでしょうか。つながって発音されているものや音が消えているものなどを理解し、音読・オーバーラッピング・シャドーイングなどの活動を通して、どんどん発音練習することで自然とリスニングのスピードにも慣れていくことができるようになります。少しずつ一緒に頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーション I	4	1年2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)		システム英単語 BLUE MARBLE ワークブック

科目の到達目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

評価の観点と方法について
定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、授業中の態度を考慮して30%以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson 1 Friendships in the Digital Age	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。復習を重ね、教科書本文の単語を全て聞き取れることを目指す。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションをする。正しい音で発音し、毎日本文の音読に努める。
	5	Lesson 2 Expos: Past, Present, and Future 中間テスト				
	6	Lesson 3 The Fascinating World of a Professional Storyteller				
	7	Lesson 4 Changing Behavior in Unique ways 期末テスト				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson 5 A Journey to Peace				
	10	Lesson 6 Humans Evolve with Measurements 中間テスト				
	11	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets				
	12	Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 期末テスト				
三 学 期	1	Lesson 9 Surviving in the Information Age				
	2	Lesson 10 The Spirit of Zen: Less Is More				
	3	学年末考査				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

復習を大切にする。授業中に課された課題（シス単の予習、小テスト、本文音読・暗唱など）に取り組む。この1年間しっかり土台作りを頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語 Communication I	4	1年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	BIG DIPPER English Communication I (数研)	新高校英語入門 (啓林館) ユメタン0 (アルク) プリント等	

科目の到達目標
【Reading】 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることができる。
【Listening】 日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。
【Writing】 興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。
【Speaking】 日常生活で簡単な用を足すことや、興味・関心のあることについて自分の考えを述べることができる。

評価の観点と方法について
定期考査に加え、平常点を加味して評価する。
平常点は、プリント・ノート等の提出、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	「新高校英語入門」 Unit 1 文の種類 Unit 2 文型と動詞 Unit 3 時制① (現在形・過去形)	1学期は中学校の文法の復習を中心として、副教材「新高校英語入門」を用いて文法の基礎を固める。 - 中学校の内容が分からないまま高校の学習に進まないようにする。 - 英語で自己紹介ができる。	文法事項の解説と演習による定着を図る。 間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。 ワークシートに取り組み、暗唱する。
	5	Unit 4 時制② (進行形・未来の表現) Unit 5 現在完了		
	6	<中間考査> Unit 6 助動詞 Unit 7 受動態 Unit 8 不定詞① Unit 9 不定詞② Unit 10 分詞	英語でクラスメートの紹介ができる。	
	7	<期末考査>		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「BIG DIPPER」 Lesson 1 Have a Good Day with a Good Breakfast	・教科書「BIG DIPPER」を使用し 高校の学習がどのようなものなのか を理解してもらう。 健康・学校生活	一学期に同じ ・英単語のクイック・レスポンス ・単語テスト ・プレゼンテーション ・ペアワーク
	10	<中間考査>	・朝食の大切さ・理想的な朝食に ついて考える。 興味関心のあることについて自 分の考えを述べることができる。	・音読活動 (さまざまな方法で実施する) ・スラッシュリーディング ・オーバーラッピング
	11	Lesson 2 A Mascot with a Mission	社会・日本文化 ・町おこしのキャラクターの役割に ついて考える。	・シャドーイング ・ディクテーション ・確認テスト など
	12	<期末考査>	自分自身や身の回りの事柄 を説明したりすることができる。	
三 学 期	1	「BIG DIPPER」 Lesson 3	心理・社会 ・サルとゴリラから見える2つの リーダーシップについて考える。	一学期に同じ
	2	Two Kinds of Leadership		
	3	<学年末考査>	次年度に向けての目標や決意を 発表することができる。	

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

みなさんの中から将来、スポーツや音楽において世界でプレーする人が出てくるかもしれません。そのときに英語が使えるら、世界中の人々とコミュニケーションを取ることができます。将来世界で活躍することを目指し、高い志を持って高校での英語の学習に取り組んでください。英語が分からないままにしておくのではなく、理解しようと努力してください。

英語の基本は語彙力です。毎週行われる単語テストの合格を目指して勉強してください。また、将来英語が使えるようにするための素地として、英文を頭に残しておくことも大切なので、本文を理解した後にしっかり音読をし、使える表現を増やしていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅰ	3	Ⅰ年Ⅰ類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	be English Logic and ExpressionⅠ Clear	be Clear Essential Grammar Book / / 総合英語 be	

科目の到達目標
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

評価の観点と方法について
習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。
定期考査に加え、平常点を加味して評価する。
平常点は、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1 現在	基本的な時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて書いたり話したりすることができる。	各単元の文法事項の確認をし、出てきた表現を使い実際にペアワークをすることで理解を深め、定着を図る。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	5	Lesson 2 過去	現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。	ALTとの授業でネイティブの英語を実際に聞き、活動する中でコミュニケーション力を培う。	
	6	中間考査			
		Lesson 3 未来			
	7	Lesson 4 完了形①			
		Lesson 5 完了形②			
		期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 6 助動詞①	助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し, 適切に使い分けて表現することができる。		
		Lesson 7 助動詞②			
		Lesson 8 助動詞③			
	10	Lesson 9 受動態	受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し, 必要に応じて使い分け, 適切に伝えることができる。		
		中間考査			
		Lesson 10 不定詞①	不定詞の様々な用法を学び, より詳細な情報を伝えることができる。		
	11	Lesson 11 不定詞②			
	Lesson 12 不定詞③				
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson 13 動名詞	動名詞の様々な用法を学び, 動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。		
	2	Lesson 14 分詞①	名詞を修飾する用法や補語になる用法, また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。		
	3	Lesson 15 分詞②			
		学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

発信力やアウトプット能力といった応用を利かせるためには、語彙力や文法などの基礎が欠かせません。授業と家庭学習を大切にして、基礎的な力を着実に養っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現 I	3	1 年 2 類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	EARTHRISE English Logic and Expression I (数研出版)	チャート式 EARTHRISE 総合英語 (数研出版) 33 アースライズ英文法 (数研出版) アースライズワーク 33 (数研出版)	

科目の到達目標
英語を理解する上で必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について
定期考査は 70%以上、平常点は 30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習单元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 0～2 文の組み立て方	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各单元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	Lesson 3～5 動詞と時の表し方		間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	
		中間考査			
	6	Lesson 6 動詞と時の表し方 Lesson 7～9 助動詞			
	7	Lesson10～11 受動態			
		Lesson12～15 不定詞			
		期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson16～17 動名詞			
		Lesson18～20 分詞			
	10	中間考査			
		Lesson21～24 関係詞			
		Lesson25～27 比較			
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson28～29 仮定法			
		Lesson 30 語法			
	2	Lesson 31 否定			
		Lesson 32～33 さまざまな表現			
	3	学年末考査			

その他（ 履修上の留意点・大学等進学のための学習など ）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅡ	3	2年1類A型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	BIG DIPPER: English CommunicationⅡ (数研出版)	『必携英単語 LEAP Basic』(数研出版)・『Hyper Listening 4 th Edition Elementary』(桐原書店)	

【科目の到達目標】 (Course Objectives)

- ・英検準2級レベルの文章を理解することができる。
- ・まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
- ・一般向けに書かれた説明文 (チラシ・パンフレット等)、を理解することができる。
- ・日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
- ・相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。
- ・事物に関する紹介や報告、対話や 討論などを聞いて情報や考えなどを理解できる。

【評価の観点と方法について】 (Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、英単語の小テスト、教科書の各レッスン・パートの小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評価・留意点
一学期	4	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	Lesson 1: Why Don't You Come to School in Pajamas? Part 1: Mr. Brown, Hana's ALT, talks to the class. 受動態 (be 動詞＋過去分詞) Part 2.: Mr. Brown also talks about the background of pajama day. 不定詞 (to＋動詞の原形) Part 3: On the Internet, Hana finds a poster announcing a pajama day at a school in the US. (助動詞＋be＋過去分詞) 英単語テスト3回 Presentation: Special School Days (暗唱) Pajama, Hair, SWAP, School Colors day	・積極的に英語を使っているか。 ・覚えた英文を使いこなしているか。 ・リスニング力が上達しているか。 ・グループワークの参加姿勢。
	5			
	6			
		中間考査 Midterm Examination		
一学期	7	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	Lesson 3: Do You Get Enough Sleep? Part 1: Mr. Jones talks to the class about the importance of having enough sleep. 仮定法過去 Part 2.: Mr. Jones introduces three tips for having better sleep.. 関係代名詞 what Part 3: Aya finds three sleep-tech items on the internet 関係副詞 when, where 英単語テスト4回 Presentation: My Hometown (自作)	Presentation ・英文の正確性。 ・発表の内容。 ・発音、抑揚等の音声要素。 ・英文を暗唱できているか ・発表全体の完成度。
		期末考査 Final Examination		

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評 価・留意点
二 学 期	9	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	Lesson 5: Universal Design: Convenient for All Part 1: Mr. Parker introduces universal design with some pictures. 分詞構文 Part 2.: Mr. Parker explains the concept of universal design to the class..進行形の受動態 (be 動詞+being+過去分詞) Part 3: Mr. Parker gives another example of universal design. 関係副詞 where の継続用法 Part 4: After Mr. Parker's talk, Miku talks to the class about problems in pictograms. .関係副詞 where の継続用法 英単語テスト4回 Presentation: My Dream (自作) 1 分間スピーチ: My Dream	- 積極的に英語を使っているか。 - 覚えた英文を使いこなせているか。 - リスニング力が上達しているか。 - グループワークの参加姿勢。 Presentation - 英文の正確性。 - 発表の内容。 - 発音、抑揚等の音声要素。 - 英文を暗唱できているか - 発表全体の完成度。
	10		中間考査 Midterm Examination	
	11	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	Lesson 6: Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer Part 1: Hiroki reads how Ms. Wakamiya became interested in computers. SVC (C=現在分詞/過去分詞) Part 2.: Hiroki reads how Ms. Wakamiya developed a unique form of art. 受動態の分詞構文 Part 3: Hiroki reads about the game app Ms. Wakamiya created. (助動詞+have+過去分詞) Part 4: Hiroki introduces Ms. Wakamiya's global activities to the class. SVOC (C=過去分詞) 英単語テスト4回 Presentation: Show and Tell (自作) 1 分間 自由 Show and Tell	
	12		期末考査 Semester Examination	
三 学 期	1	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	Lesson 8: The Wisdom of Preserving Food Part 1: Kanata talks about the history of preserved food in Japan. 仮定法過去完了 Part 2.: Olivia talks about other food preservation methods in the world. as if+S+仮定法過去 Part 3: Kanata introduces a variety of fermented foods in Japan. Without～ Part 4: Kanata and Olivia want to try preserving some foods. 英語の Recipe (レシピ) 英単語テスト4回 Presentation: Show and Tell (自作) 1 分間 自由 Show and Tell	
	2		学年末考査 Final Examination	

【その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）】 (Course Objectives)
本クラスでは、リーディング、リスニングのトレーニングとプレゼンテーションを基本的に行います。リスニングにおいて、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習のトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。皆さんには積極的かつ能動的な授業参加とともに、自宅や寮における英語自習時間の確保と、集中した自宅学習を望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅡ	3	2年Ⅰ類B型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		DateBase3300

【科目の到達目標】 (Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準2級レベルの文章（300語程度の長文）を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文（チラシ・パンフレット等）、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一学期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。
	5	AE: Lesson 1 Lesson 2				
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4 AE: Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をおおまかに理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	10	AE: Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8				
	中間考査 Midterm Examination					
	11	BD: Lesson 7 Lesson 8	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。
	12	AE: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12				
	期末考査 Second-term Examination					
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。
	2	AE: Lesson 13 Lesson 14				
	3	Lesson 15 Lesson 16				
	学年末考査 Final Examination					

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を要請するためには、多種多様な英語表現を数多く習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにして下さい。また、定期的に現在の自分の実力を測るためにも、進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、自分と向き合い、今後の課題を具体的に見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ 100 点ずつと、リスニングの割合が圧倒的に高くなっています。そのため、本クラスでは、主に reading と listening のトレーニングを同じ割合で重点的に行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現の input を行い、それらを output および listening において理解できるようにするための発音練習に徹底的に取り組み、またテキストの本文を用いての音のつながり (linking)、同化 (assimilation)、脱落 (elision)、抑揚 (intonation) などを意識した音読練習やシャドーイングも活動の柱として徹底的に行っていきます。このようなトレーニングを通して習得した音声面におけるより高い英語力を用いて、読解の際のスピードを上げ、多量の英文を臆することなく読むことができるようになることに繋げていくことを期待しています。さらに、各レッスンのテーマを利用した活動といった content-based な取り組みにも幅を広げることで、output の機会を設け、国公立大学 2 次試験の自由英作文の練習の一環とします。

さて、英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅡ	3	2年Ⅰ類C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		DateBase3300

【科目の到達目標】 (Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準2級レベルの文章（300語程度の長文）を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文（チラシ・パンフレット等）、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。
	5	AE: Lesson 1 Lesson 2				
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をおおまかに理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		AE: Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5				
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	10	AE: Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8				
	中間考査 Midterm Examination					
	11	BD: Lesson 7 Lesson 8	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。
	12	AE: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12				
期末考査 Second-term Examination						
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。
	2	AE: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15				
	3	Lesson 16				
	学年末考査 Final Examination					

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を要請するためには、多種多様な英語表現を数多く習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにして下さい。また、定期的に現在の自分の実力を測るためにも、進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、自分と向き合い、今後の課題を具体的に見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ 100 点ずつと、リスニングの割合が圧倒的に高くなっています。そのため、本クラスでは、主に reading と listening のトレーニングを同じ割合で重点的に行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現の input を行い、それらを output および listening において理解できるようにするための発音練習に徹底的に取り組み、またテキストの本文を用いての音のつながり (linking)、同化 (assimilation)、脱落 (elision)、抑揚 (intonation) などを意識した音読練習やシャドーイングも活動の柱として徹底的に行っていきます。このようなトレーニングを通して習得した音声面におけるより高い英語力を用いて、読解の際のスピードを上げ、多量の英文を臆することなく読むことができるようになることに繋げていくことを期待しています。さらに、各レッスンのテーマを利用した活動といった content-based な取り組みにも幅を広げることで、output の機会を設け、国公立大学 2 次試験の自由英作文の練習の一環とします。

さて、英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーション I	4	2年・2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	BLUE MARBLE (数研出版)		システム英単語 (駿台文庫) BLUE MARBLE ワークブック

科目の到達目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点と方法について 定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、授業中の態度を考慮して30%以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 Leadership in Modern Times	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。シス単を使いクイックレスポンスを行う。
	5	Lesson2 The Diversity of Traditional Houses				
	6	Lesson3 Improving Society with Avatar Robots				
	7	Lesson4 Approaches to Food Waste				
		期末テスト				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson5 Animals as Indispensable Partners				
	10	Lesson6 An Irish Poet on a Mission				
		中間テスト				
	11	Lesson7 Be Free from Gender Bias				
	12	Lesson8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees				
		期末テスト				
三 学 期	1	Lesson9 Tackling Global Warming				
	2	Lesson10 Keys to Finding Happiness				
	3	学年末考査				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

復習を大切にする。授業中に課された課題（小テスト、本文音読・暗唱など）に取り組む。この1年間しっかり土台作りを頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅡ	2	2年・3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	BIG DIPPER Ⅱ(数研出版)	DateBase3300	

科目の到達目標 教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに、英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

評価の観点と方法について 定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	方法・活動
一学期	4	Lesson4 The History of the Telephone	- Can you imagine a life without a mobile phone? - When did telephone become Portable? - Do mobile phone have any problems? 以上の点を中心に読み解く	① 教科書を通じて英語で話される日常的・社会的な話題を理解する力を伸ばす。授業の音読練習で相手が発話している英語を聞き取る力をつける。
	5	中間考査		② 新出単語、文法を理解した後、本文をしっかりと音読練習し定着を図る。また、ペアワークをすることで相手に対して発話する機会を持つ。
	6	Lesson5 Universal Design : Why Is It Important for You ?	- Which type of vending machine is universal design? - What are the keywords of universal design? - What is the difference between barrier-free design and universal design? - What are the basic idea of universal design? 以上の点を中心に読み解く	③ 文法は練習問題を通じて理解を深める。また、語句・文章のサイトトランスレーションを通して内容の定着と正確に発話する力を身に着ける。
	7	期末考査		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson6 J.K. Rowling : Everyone Has Hidden Power	- Where did Joanne get the ideas? - How did Joanne create the whole story? - What were the problems of Joanne's first book? - What does the "magic" in the Harry Potter series means? 以上の点を中心に読み解く	一学期に同じ。
	10	中間考査		
	11	Lesson7 The Bicycle : An Old Friend And a New Friend	- Is the bicycle old-fashioned? - How do people use bicycles? - What are the problems with bicycles?	
	12	期末考査	How can we solve the problems? 以上の点を中心に読み解く	
三 学 期	1	Lesson8 From Child to Adult :	- Do you think you are grown-up? - How does the law define adulthood? - Should we lower the age of adulthood?	一学期に同じ。
	2	When Do You Change?	When do people become mentally mature? 以上の点を中心に読み解く	
	3	Lesson9 Food Miles : Where Does Our Food Come From? 学年末考査	- What does "food miles" means? - What are the problems of buying food from far away? - What can we do to solve the problems? - Why do we buy a lot of food from abroad? 以上の点を中心に読み解く	

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

授業の復習を大切にしてください。本文に出てきた語彙や文法をしっかりと理解して長文を読む力をつけましょう。また、語彙力なくして英文は読めません、ユメタンの小テストは1週間前から準備し、万全の態勢で受けてください。みなさんの日々の努力による向上を期待しています。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現 I	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	English Logic and Expression I Be Clear	プリント	

【科目の到達目標】

<Writing>

1. 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
2. 印象に残った出来事について、その内容を伝える文章を書くことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

1. 日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。
2. 印象に残った出来事について、話すことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介することができる。(4分程度)

【評価の観点と方法について】

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1	文の種類	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	5	Lesson 2	文型と動詞	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
		中間考査			
	6	Lesson 3	時制		
	7	Lesson 4	完了形		
		期末テスト			

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 5	助動詞	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	10	Lesson 6	受動態／観光	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
		中間考査			
	11	Lesson 7	不定詞／交際		
	12	Lesson 8	動名詞／娯楽		
		期末考査			
三 学 期	1	Lesson 9	分詞／ルール	①教科書の例文を用いて、英文法の構造・意味を理解する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容等によって評価する。
	2	Lesson 10	関係詞／文化	②問題演習(各 Lesson の Practice)に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →問題演習や提出物等の取り組み状況によって評価する。
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

「毎日コツコツ」が外国語学習の基本です。とは言っても、何事も継続することが難しいと感じている人もいます。何かを継続するコツは、まず「継続できる内容」にすることです。どんなに小さなちりでも、積み重ねれば山になります。続けているうちに自信がついてくると信じて、まずは小さなことを一生懸命続けてみましょう。

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Writing>

1. 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
2. 印象に残った出来事(学校行事、旅行など)や、日本や日本文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

1. 日常生活での出来事について説明することや、要件を伝えたりすることができる。
2. 印象に残った出来事について、相手と会話ができる。
3. 日本や日本文化についてスピーチ等を通して紹介することができる。

	月	be Clear	Writing		Speaking	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	【論理表現1】 Lesson 16 関係代名詞 Lesson 17 関係副詞	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。 ・ペアワーク
	5	Plus 5 非限定用法 (Workbook)	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・プレゼンテーション
	中間考査 Midterm Examination					
	6	Lesson 18 比 較 Lesson 19 最上級	・各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。 ・ペアワーク
	7	Plus 6 比較表現 (Workbook)	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・プレゼンテーション
	期末考査 First-term Examination					

	月	be Clear	Writing		Speaking	
			ねらい	方法・活動	ねらい	ねらい
二 学 期	9	【論理表現Ⅰ】 Lesson 20 仮定法 Plus 7 仮定法表現 (Workbook)	・各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	10	【論理表現Ⅱ】 Lesson 1 時 制	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
	中間考査 Midterm Examination					
	11	Lesson 2 名詞句・節 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 形容詞・分詞	・各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	12	Lesson 5 後置修飾 Lesson 6 関係 詞	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
期末考査 Second-term Examination						
三 学 期	1	Lesson 7 副 詞	・各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	2	Lesson 8 不定詞				・ペアワーク
	3	Lesson 9 副詞節	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・プレゼンテーション
	学年末考査 Final Examination					

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

外国語は、教祖の教えを世界の人々に伝えるための重要な道具です。その国や地域に住む人々のことばと文化を理解し、陽気ぐらし世界を実現させるために、まずは身近な外国語である英語をがんばってみませんか。また、同時に英語とはコミュニケーションの道具であるので、積極的に学習した表現を使用するなどして、英語の楽しさを実感することができます。

また、お道の書物の多くは外国語に翻訳されており、英語版の『おふでさき』や『天理教教典』なども出版されています。英語を通して原典に親しみ、理解することも可能です。天理高校生にとって英語の学習は、信仰を深めるという観点からも、意義のあるものに違いありません。

そして、自分の興味・関心のあるスポーツなどのさまざまなものは、必ず英語と結びつけることができます。数をこなし、覚えるべきものはしっかり覚え、大学入試を含め自分自身のために役立つ英語を、元気よく学びましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅱ	3	2年I類B型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	be Clear: English Logic and Expression I & II (いいずな書店)		『総合英語 be』(いいずな書店)、 ワークブック、ハンドアウト

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Writing>

- 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
- 印象に残った出来事(学校行事、旅行など)や、日本や日本文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

- 日常生活での出来事について説明することや、要件を伝えたりすることができる。
- 印象に残った出来事について、相手と会話ができる。
- 日本や日本文化についてスピーチ等を通して紹介することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	be Clear	Writing		Speaking	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一学期	4	【論理表現Ⅰ】 Lesson 16 関係代名詞 Lesson 17 関係副詞	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	5	Plus 5 非限定用法 (Workbook) Plus 4 準動詞 (Workbook)	・模試、入試レベルの問題に挑戦してみる。 ・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・過去問、演習問題に取り組む。 ・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	Lesson 18 比較 Lesson 19 最上級 Plus 6 比較表現 (Workbook) Option 10 that 節 (Workbook)	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。 ・模試、入試レベルの問題に挑戦してみる。 ・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。 ・過去問、演習問題に取り組む。 ・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。 ・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・モデル会話文の音読、暗唱。 ・ペアワーク ・プレゼンテーション
		期末考査 First-term Examination				

	月	be Clear	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	ねらい
二 学 期	9	【論理表現Ⅰ】 Lesson 20 仮定法 Plus 7 仮定法表現 (Workbook) Option 11 否定・疑問 (Workbook)	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	10	【論理表現Ⅱ】 Lesson 1 時 制	・模試、入試レベルの問題に挑戦してみる。	・過去問、演習問題に取り組む。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
	11	中間考査 Midterm Examination				
	12	Lesson 2 名詞句・節 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 形容詞・分詞 Lesson 5 後置修飾 Lesson 6 関係詞	・各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
			・模試、入試レベルの問題に挑戦してみる。	・過去問、演習問題に取り組む。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
三 学 期		期末考査 Second-term Examination				
	1	Lesson 7 副 詞	・各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	2	Lesson 8 不定詞	・模試、入試レベルの問題に挑戦してみる。	・過去問、演習問題に取り組む。	・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク
	3	Lesson 9 副詞節	・学んだ表現を使って自己表現ができる。	・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。		・プレゼンテーション
		学年末考査 Final Examination				

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を要請するためには、多種多様な英語表現を数多く習得する必要があります。テキストのみならず、参考書を積極的に活用し、一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにして下さい。また、定期的に現在の自分の実力を測るためにも、ベネッセ総合学力テストや全統模試などの各種模試を積極的に受験し、自分と向き合い、今後の課題を具体的に見つけられる機会を持つようにしましょう。そして、身に付けた英語力をプレゼンテーション等により積極的に活用し、実践的な英語コミュニケーション力を高めていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅱ	3	2年I類C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	be Clear: English Logic and Expression I & II (いいずな書店)		『総合英語 be』(いいずな書店)、 ワークブック、ハンドアウト

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Writing>

- 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
- 印象に残った出来事(学校行事、旅行など)や、日本や日本文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

- 日常生活での出来事について説明することや、要件を伝えたりすることができる。
- 印象に残った出来事について、相手と会話ができる。
- 日本や日本文化についてスピーチ等を通して紹介することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	be Clear	Writing		Speaking	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一学期	4	【論理表現Ⅰ】 Lesson 16 関係代名詞 Lesson 17 関係副詞	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	・モデル会話文の音読、暗唱。
	5	Plus 5 非限定用法 (Workbook) Plus 4 準動詞 (Workbook)	・学んだ表現を使って自己表現ができる。 ・ある程度まとまった文章を書くことができる。	・課題英作文、テーマ英作文に取り組む。 ・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・モデル英会話の内容を自由にアレンジして演じられる。 ・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・ペアワーク ・プレゼンテーション
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	Lesson 18 比較 Lesson 19 最上級 Plus 6 比較表現 (Workbook) Option 10 that 節 (Workbook)	・語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。 ・学んだ表現を使って自己表現ができる。 ・ある程度まとまった文章を書くことができる。	・テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。 ・課題英作文、テーマ英作文に取り組む。 ・定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	・ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。 ・モデル英会話の内容を自由にアレンジして演じられる。 ・覚えた表現を使って自己表現ができる。	・モデル会話文の音読、暗唱。 ・ペアワーク ・プレゼンテーション
		期末考査 First-term Examination				

	月	be Clear	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	ねらい
二 学 期	9	【論理表現Ⅰ】 Lesson 20 仮定法 Plus 7 仮定法表現 (Workbook) Option 11 否定・疑問 (Workbook)	- 語順に注意して各種表現を覚え、英語で書けるようにする。 - 学んだ表現を使って自己表現ができる。 - ある程度まとまった文章を書くことができる。	- テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。 - 課題英作文、テーマ英作文に取り組む。 - 定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	- ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。 - モデル英会話の内容を自由にアレンジして演じられる。 - 覚えた表現を使って自己表現ができる。	- モデル会話文の音読、暗唱。 - ペアワーク - プレゼンテーション
	10	【論理表現Ⅱ】 Lesson 1 時 制				
	11	中間考査 Midterm Examination				
	12	Lesson 2 名詞句・節 Lesson 3 助動詞 Lesson 4 形容詞・分詞 Lesson 5 後置修飾 Lesson 6 関係 詞	- 各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。 - 学んだ表現を使って自己表現ができる。	- テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。 - 課題英作文、テーマ英作文に取り組む。 - 定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	- ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。 - 覚えた表現を使って自己表現ができる。 - 与えられたテーマで簡単なスピーチができる。	- モデル会話文の音読、暗唱。 - ペアワーク - プレゼンテーション
		期末考査 Second-term Examination				
三 学 期	1	Lesson 7 副 詞	各種表現を覚え、ある程度まとまった英語で書けるようにする。	テキスト、ハンドアウト、ワークブック等の各種教材の練習問題に取り組む。	ターゲットとなる表現を含む英文を暗唱できる。	モデル会話文の音読、暗唱。
	2	Lesson 8 不定詞	学んだ表現を使って自己表現ができる。	課題英作文、テーマ英作文に取り組む。	覚えた表現を使って自己表現ができる。	ペアワーク
	3	Lesson 9 副詞節		定期試験における初見問題を通して実践力、応用力を測る。	与えられたテーマで簡単なスピーチができる。	プレゼンテーション
		学年末考査 Final Examination				

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

C型の生徒として、気概とプライドをもって授業に臨むことを期待します。本クラスでは、主に writing と speaking のトレーニングを重点的にを行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠なさまざまな英語表現の input を行い、それらを文法的に正確に書く練習や、正確に伝えられるようにするための音読練習やシャドーイングも行っていきます。また、覚えた表現を活用しての応用練習やプレゼンテーションにも取り組みます。

さて、英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、課題やプレゼンテーションの準備などで生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 II	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	EARTHRISE (数研出版)	チャート式 EARTHRISE (数研出版) 33EARTHRISE 問題集 (数研出版)	

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について
定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	接続詞	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
		前置詞			
	5	中間考査		間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
	6	名詞・冠詞			
		代名詞			
	7	期末考査			小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	代名詞			
		形容詞			
		副詞			
	10	中間考査			
	11	入試問題を扱う問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	入試問題を扱う問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生から2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかに土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張ってください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 II	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	EARTHRISE (数研出版)	チャート式 EARTHRISE (数研出版) 33EARTHRISE 問題集 (数研出版)	

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について
定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	接続詞	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
		前置詞			
	5	中間考査			
	6	名詞・冠詞			
		代名詞			
	7	期末考査		間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
					小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	代名詞			
		形容詞			
		副詞			
	10	中間考査			
	11	入試問題を扱う問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	入試問題を扱う問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生から2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかに土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張ってください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	2	2年1類C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Impact Topics 2 3rd Edition (Perterson)	英語のハンドアウト・視聴覚教材・音楽など	

【科目の到達目標】 (Course Objectives)

本科目はC型英語コース専門科目として開講される。年間を通して、英語のコミュニケーション能力の向上に重点を置き、主にリスニングの理解力とスピーキングの上達、英語での自己表現ができることを目的とする。プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチの発表、ペア・グループワークなどの様々なアクティブラーニング活動を通して、英語でコミュニケーションをとれる自信をつけて、より良い英語の話し手、聞き手になるための動機付けをする。又、アメリカのさまざまな文化学習と文化体験をし、異文化に対しての知識と体感できる行事を行う。授業内だけではなく、日常生活の中でも積極的に英語を使い、自分の思ったこと、感じていることを自然に英語で表現できるようになる努力を望む。

【評価の観点と方法について】 (Grading Procedure)

本科目の評価は、定期考査の成績、小テスト、各種プレゼンテーション、スピーチ発表、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて行う。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を最重視する。

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評 価・留意点
一 学 期	4	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	<Impact Issues 2 Lesson 1: First Impressions> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、本文の理解ワーク、グループワーク、意見交換 <Presentation 1> Lesson 1: What I look for in a person.	・積極的に英語を使っているか。 ・覚えた英文を使いこなせているか。
	5	・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<One Minute Speech: Self Introduction> <English Course Handbook>	・リスニング力が上達しているか。
	6	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Impact Issues 2 Lesson 2: Big or small?> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、本文の理解ワーク、グループワーク、意見交換 <Presentation 2> Lesson 2: What I like about where I live. <One Minute Speech: Hometown>	・グループワークの参加姿勢。 Presentation ・英文の正確性。 ・発表の内容。 ・発音、抑揚等の音声要素。 ・英文を暗唱できているか ・発表全体の完成度。
	7		<Special Session with 3rd Year> 3年生C型との合同行事 <Various Handouts>	
期末考査 Semester Examination				

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評 価・留意点
二 学 期	9	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Impact Issues 2 Lesson 3: The Good Language Learner> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、本文の理解ワーク、グループワーク、意見交換 <Presentation 3> Lesson 3: An International Adventure <One Minute Speech: What I enjoy doing in my free time> <Various Handouts> Cultural Experience: Halloween	- 積極的に英語を使っているか。 - 覚えた英文を使いこなせているか。 - リスニング力が上達しているか。 - グループワークの参加姿勢。 Presentation - 英文の正確性。 - 発表の内容。 - 発音、抑揚等の音声要素。 - 英文を暗唱できているか - 発表全体の完成度。
	10			
	11	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Imp. Issues 2 Lesson 5: Forever Single> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、本文の理解ワーク、グループワーク、意見交換 <Presentation 5> Lesson 5: My future life. <One Minute Speech: My dream> <Special Session with 3rd Year> International Exchange Meeting 天理大学留学生との国際交流会 <Various Handouts> Cultural Experience: Thanksgiving, Christmas	
	12			
		期末考査 Semester Examination		
三 学 期	1	- ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 - 正しい発音、イントネーションで話す。	<Imp. Issues 2 Lesson 6:What are friends for?> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、本文の理解ワーク、グループワーク、意見交換	
	2	- 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Presentation 6> Lesson 6: A friend I really like. <Special Session with 3rd Year> Speech Presentations	
	3			
		学年末考査 Final Examination		

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】 (Course Objectives)

世界中のどこへ行っても、英語が話せたらコミュニケーションが取れる。英語が話せるというだけで選択肢も広がり、人生がより豊かなものへととなりうる。この英語演習の科目は英語の四機能 (Reading, Writing, Listening & Speaking) の学習を、ペアワークやグループワーク、ディスカッション、発表などのアクティブラーニング形式を通して、英語力を向上させることができる。また、アメリカの文化やアメリカで行う様々な伝統行事を学び、異文化体験もする。勉強や日常生活の中での努力の積み重ねが英語の上達に結び付くので積極的な学習姿勢を期待して、皆さんの一年後の成長を楽しみにしています。頑張ってください。Do your best and make the most of your time here in the English Course. Best of luck to all of you!

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication II	3	3 年 3 類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	<i>BIG DIPPER:</i> <i>English Communication II</i> (数研出版)	『必携 英単語 LEAP Basic』(数研出版) 『Jet Reading 英語速読テストLevel 1』(数研出版)	

《 科目の到達目標 》

教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。
また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元 ・項目	Reading① (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	BD: Lesson 2	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・会話の流れをつかむ。 ・導入→例示→結論の流れをつかむ。 ・ポスターから必要な情報を得る。 ・品詞の違いを知る。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
	5	JR L1: Lesson 1				
		Lesson 2				
		Lesson 3				
		Lesson 4				
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 3	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・助動詞の意味の違いを知る。 ・「誰が」「いつ」「どこで」「何を」したのかをつかむ。 ・テキストメッセージを読み取る。 ・ディスコースマーカー「談話標識」を知る。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
		JR L1: Lesson 5				
		Lesson 6				
		Lesson 7				
		Lesson 8				
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	BD: Lesson 5		- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング	〈原因・理由〉〈結果〉を表す接続詞を知る。 - 何と何が対比されているかをつかむ。 - 特徴をつかんで読む。 - 逆説の接続詞 but を理解する。	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト
	10	JR L1: Lesson 13	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング	- 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト		
		Lesson 14	- 解説 - 音読活動			
		Lesson 15	内容確認テスト			
		Lesson 16				
	11	中間考査 Midterm Examination				
	12	BD: Lesson 6		- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング		- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト
		JR L1: Lesson 17	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング	- 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト	- 時の流れと、物事の変遷を把握する。 - アドバイスを読み取る。 - グラフを読み解く。 - 類似点・相違点に注意する。	
		Lesson 18	- 解説 - 音読活動			
		Lesson 19	内容確認テスト			
		Lesson 20				
三 学 期		期末考査 Second-term Examination				
	1	BD: Lesson 8	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング	- すでに持っている知識を利用する。 - 著者の感情を理解する。	- 新出語彙確認 - 本文リスニング、リーディング - 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト
		JR L1: Lesson 21	- 解説 - 音読活動	- 解説 - 音読活動 - 内容確認テスト		
		Lesson 22	内容確認テスト			
	2					
	3					
学年末考査 Final Examination						

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication III	3	3 年 1 類 A 型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	<i>BIG DIPPER:</i> <i>English Communication III</i> (数研出版)	『必携 英単語 LEAP』(数研出版) 『Jet Reading 英語速読テストLevel 1』(数研出版)	

《 科目の到達目標 》

教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。
また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元 ・項目	Reading① (<i>Big Dipper</i> = BD)		Reading② (<i>Jet Reading</i> = JR)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト		
	5	JR L1: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4			・会話の流れをつかむ。 ・導入→例示→結論の流れをつかむ。 ・ポスターから必要な情報を得る。 ・品詞の違いを知る。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・助動詞の意味の違いを知る。 ・「誰が」「いつ」「どこで」「何を」したのかをつかむ。 ・テキストメッセージを読み取る。 ・ディスコースマーカー「談話標識」を知る。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
		JR L1: Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8				
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 〈原因・理由〉 〈結果〉を表す接続詞を知る。 ・ 何と何が対比されているかをつかむ。 ・ 特徴をつかんで読む。 ・ 逆説の接続詞 butを理解する。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト				
	10	JR L1: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 JR L1: Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20					文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 時の流れと、物事の変遷を把握する。 ・ アドバイスを読み取る。 ・ グラフを読み解く。 ・ 類似点・相違点に注意する。	
		期末考査 Second-term Examination								
	三 学 期	1	BD: Lesson 13 Lesson 14 JR L1: Lesson 21	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ すでに持っている知識を利用する。 ・ 著者の感情を理解する。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト			
		2	Lesson 22							
3										
		学年末考査 Final Examination								

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication III	3	3 年 1 類 B 型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	<i>BIG DIPPER:</i> <i>English Communication III</i> (数研出版)	『必携 英単語 LEAP』(数研出版) 『Jet Reading 英語速読テストLevel 2,3』(数研出版)	

《 科目の到達目標 》

教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。
また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元 ・項目	Reading① (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)						
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動					
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・根拠や反証を把握できる。 ・時間的な前後関係を表す語句に注意できる。 ・つながり表現に注意できる。 ・受動態を理解できる。 ・調査や研究について読める。 ・条件を把握できる。 ・利点を整理できる。 ・根拠を見つけられる。 ・省略に注意できる。 ・長い主語や動詞句を理解できる。 ・物事の起源と変遷を理解できる。 ・環境問題のキーワードをおさえられる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト					
	5	JR L2: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12									
	6	中間考査 Midterm Examination									
	7	BD: Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6					・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・代名詞を把握できる。 ・スケジュールを把握できる。 ・トピック・センテンスを探すことができる。 ・長い目的語に気をつけられる。 ・長い主語は後ろに回される場合を理解できる。 ・前文の内容を指すthis, that に注意できる。 ・初めて見る単語の意味を推測できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト		
		JR L2: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20									
	期末考査 First-term Examination										

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・〈原因・理由〉〈結果〉を表す接続詞を知る。 ・何と何が対比されているかをつかむ。 ・特徴をつかんで読む。 ・逆説の接続詞 but を理解する。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト				
	10	JR L3: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 JR L3: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16					・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト		
	期末考査 Second-term Examination									
	1	BD: Lesson 13 Lesson 14 JR L3: Lesson 21 Lesson 22					・まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・すでに持っている知識を利用する。 ・著者の感情を理解する。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
	2									
	3									
	学年末考査 Final Examination									

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication III	3	3 年 1 類 C 型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	<i>BIG DIPPER:</i> <i>English Communication III</i> (数研出版)	『必携 英単語 LEAP』(数研出版) 『Jet Reading 英語速読テストLevel 2,3』(数研出版)	

《 科目の到達目標 》

教科書を通じて語彙や文法の理解を深めるとともに英語で書かれた情報や文章を的確に理解できる力を養う。
また、音読による発話で英語をアウトプットする習慣をつける。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

定期考査と平常点で評価する。平常点は宿題・提出物、授業に対する姿勢、小テストとする。

	月	学習単元 ・項目	Reading① (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)							
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動						
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・根拠や反証を把握できる。 ・時間的な前後関係を表す語句に注意できる。 ・つながり表現に注意できる。 ・受動態を理解できる。 ・調査や研究について読める。 ・条件を把握できる。 ・利点を整理できる。 ・根拠を見つけられる。 ・省略に注意できる。 ・長い主語や動詞句を理解できる。 ・物事の起源と変遷を理解できる。 ・環境問題のキーワードをおさえられる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト						
	5	JR L2: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12										
	6	中間考査 Midterm Examination										
	7	BD: Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6					・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・代名詞を把握できる。 ・スケジュールを把握できる。 ・トピック・センテンスを探すことができる。 ・長い目的語に気をつけられる。 ・長い主語は後ろに回される場合を理解できる。 ・前文の内容を指すthis, that に注意できる。 ・初めて見る単語の意味を推測できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト		
		JR L2: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20										
	期末考査 First-term Examination											

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Reading② (Jet Reading = JR)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・〈原因・理由〉〈結果〉を表す接続詞を知る。 ・何と何が対比されているかをつかむ。 ・特徴をつかんで読む。 ・逆説の接続詞 but を理解する。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト				
	10	JR L3: Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 JR L3: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16					・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト		
	期末考査 Second-term Examination									
	1	BD: Lesson 13 Lesson 14 JR L3: Lesson 21 Lesson 22					・まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト	・すでに持っている知識を利用する。 ・著者の感情を理解する。	・新出語彙確認 ・本文リスニング、リーディング ・解説 ・音読活動 ・内容確認テスト
	2									
	3									
	学年末考査 Final Examination									

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅢ	4	3年・2類・文理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Change the World(Approach) (いわずな書店)	共通テスト用テキスト	

科目の到達目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点と方法について 定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の努力状況、予習や授業中の態度を考慮して30%以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Unit 01 生き方	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	予習の段階において、本文を読みながら、分からない単語を減らす努力を行う。入試を意識し、すぐに調べるのではなく、英文を読み切つて類推する体力を身につける。授業中は、問題の解説、本文の重要構文を中心に進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	共通テストのリスニングで得点できるように演習を行う。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。
		Unit 02 物語				
		Unit 03 技術				
		Unit 04 歴史				
		Unit 05 環境				
	5	Unit 06 伝記				
		中間テスト				
		Unit 07 文化				
		Unit 08 ビジネス				
		Unit 09 行動科学				
	6	Unit 10 科学技術				
		Unit 11 風俗				
		Unit 12 人間・性質				
		Unit 13 動物				
		期末テスト				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	共通テスト演習		入試問題演習・共通テストの演習を行っていく。	長い英文のリスニング問題に慣れることを目標とする。	授業時間内に行えない部分においては、問題集の進め方を的確に指示する。
	10	中間テスト				模試の過去問など、実践問題の演習を行う。
	11	共通テスト演習				
	12	期末テスト				
三 学 期	1	共通テスト演習	共通テストで7割取れることを目標とする。		共通テストのリスニングにおいて7割取れることを目標とする。	
	2					
	3					

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

共通テストのレベルよりもやや難しい英文を読み、それに慣れることが大事です。

まず1，2回読み、大意を捉える。設問に目をとおして答を探しながら読む。そして精読、不明な単語を調べながら覚える。キーとなる段落や文を暗記する。時間をかければかけるほど、結果が明らかに現れるのが英語です。最後まで頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅲ	3	3年Ⅰ類 A・B・C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest English Logic and Expression II・III	Workbook Hope Vintage	

科目の到達目標	論理表現Ⅱでは英語4技能の内、Writing と Speaking を重点的に扱う。
Writing :	日常生活の話題や社会性のある話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
Speaking :	社会性の高い話題について説明することや、自分の意見を述べたりすることができる。
(各技能の Can-Do リストについては TSEEGs 到達目標表を参照)	

定期考査は8割以上、平常点は2割以下として総合判断する。平常点は、授業中の取り組み方、単元毎の小テストの成績、提出課題の内容等を総合的に判断して決定する。また、英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価に入れる。文法・語彙問題集の小テストを行い、その理解の程度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				・具体的な学習内容と方法	
1 一学期	4	Vision Quest ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II Build-Up 1	名詞と冠詞	数えられる名詞と数えられない名詞の違いを理解し、単数と複数を用いて適切に表現する。また、冠詞を適切に使用し、正しい英文で表現する。	(a) 授業中の活動・発表 (b) 課題の提出 (c) 小テスト (d) 定期考査 (e) 英語による作文等
	5	Lesson 3	時制・完了形	現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。	
		Lesson 4	助動詞	義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	
		《中間考査》			
	6	Build-Up 2	主語と動詞の呼応・時制の一致	様々な主語が単数と複数のどちらを導くかを判断し、表現する。時制の一致を行うかどうか適切に判断し表現する。	
		Lesson 5	形容詞句・形容詞的用法	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	
	7	Lesson 6	関係詞	関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てる。	
		《期末考査》			

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				具体的な学習内容と方法	
二 学 期	9	Build-Up 3	英語の情報構造	英語特有の情報の流れを学び、自然な英文を意識して表現する。	
		Lesson 7	副詞・副詞句・副詞節	形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	
	10	Lesson 8	話法・伝達表現	相手に情報を伝えるために、直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。	
		《中間考査》			
		Build-Up 4	前置詞	前置詞の使い方を学び、間違えやすい前置詞を意識して、適切に使用する。	
	11	Lesson 9	仮定法	条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	
	12	Lesson 10	数量を表す表現	可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	
		《期末考査》			
三 学 期	1	Build-Up 5	丁寧表現	英語の語句や文法の形式で表した丁寧な表現を学び、相手や立場に応じて表現する。	
		Lesson 11	原級・比較級・最上級	原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	
		Lesson 12	否定	否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	
		《学年末考査》			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

外国語の学習過程を研究する「第2言語習得」の研究分野では、文法をしっかりと学習することが、言語に対する意識を高め、学習している言語の使用について最終到達点を押し上げるという報告もあります。あくまでも、目的ではなく手段としての文法学習ですが、しっかりと学んで堅牢な英語の土台を築いてください。

スポーツでは地道な基礎練習を怠っては良いプレーはできません。一つの技を身につけるために徹底的な反復練習が必要であることは周知のことです。英語の学習においても、同様です。英語の苦手な部分をしっかりと自分で復習し、新しく習う範囲は日々の予習、復習を欠かさない。また、副教材の参考書で常に知識を広げることが重要です。英語は必ず「暗記」を必要とします。こつこつと積み上げていかなければ、何もしていないのに急に力が着くということは絶対ありません。日々の努力を期待しています。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅲ	2	3年・2類 文理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	UPGRADE 英文法・語法問題完全演習 ＜標準編＞（数研出版）	四訂版アップグレード英文法・語法問題 （数研出版）	

科目の到達目標
英語を理解するうえで必要不可欠な既習の文法・語法を復習確認し、共通テストや私大入試の文法・語法さらには語整序・英作問題に十分対応できる力をつけるために反復練習を行う。

評価の観点と方法について
定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。
平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	＜2年次からの続き＞ ・動詞の語法 ・名詞の語法 ・代名詞の語法	既習の項目の中で理解できていないところや弱点を把握し、克服に努める。	それぞれの項目の問題を解く前と後に、アップグレードを用いて、基本事項を確認・復習をする。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	・数量表現 ・形容詞の語法 ・形容詞・副詞の語法			
		中間考査	共通テストレベルの問題に対応できる力をつける。	間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
	6	・文法項目のランダム形式問題演習			
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	共通テスト・私立大学 過去問演習			
	10				
		中間考査			
	11	共通テスト・私立大学 過去問演習			
	12	期末考査			
三 学 期	1	過去問演習	共通テストで7割取 れることを目標とす る。		
	2				
	3				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。そのレベルの問題を確実におさえていくことが、合格への近道となります。地道な学習を粘り強く頑張ってください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英 語 演 習	2	3 年 I 類 B 型	選 択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	英語総合問題演習『WIDE ANGLE 4』 (美誠社)	ハンドアウト	

【科目の到達目標】(Purposes of the Course)

大学や専門学校等の入学試験で通用する英語力習得に向けて、各種演習や復習を重点的にを行い、基礎力を高める。
また、大学・専門学校入学後に必要とされる英語力も想定し、さまざまな活動を通して英語力の向上を図る。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson 1 Dog Care Services 時 制 1	・ 読解演習を通してまとまった量の英文を読み、時間内に正確に理解し解答する。	・ テキストである英語総合問題演習教材を活用し、さまざまな技能の演習、復習を行う。
	5	Lesson 2 Electric Vehicles 時 制 2	・ 基本的な英語表現、文法を復習することで基礎力を高める。	・ 必要に応じてハンドアウト等を活用する。
		Lesson 3 The World Bank 助動詞 1	・ 読解問題や文法問題に使用される各種語彙や表現を復習し、覚えることで語彙力を高める。	
		Lesson 4 Valuable Holidays 助動詞 2		
	6	Lesson 5 Online Shopping 受動態		
	7	Lesson 6 Galileo Galilei 準動詞 1		
		Lesson 7 Smoking in Japan 準動詞 2		

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson 8 King Arthur's Round Table 関係詞 1	・読解演習を通してまとまった量の英文を読み、時間内に正確に理解し解答する。 ・基本的な英語表現、文法を復習することで基礎力を高める。 ・読解問題や文法問題に使用される各種語彙や表現を復習し、覚えることで語彙力を高める。	・テキストである英語総合問題演習教材を活用し、さまざまな技能の演習、復習を行う。 ・必要に応じてハンドアウト等を活用する。
	10	Lesson 9 Silk Road 関係詞 2		
	11	Lesson 10 Open Campus 接続詞		
	12	Lesson 11 Food Allergy 名詞・代名詞		
		Lesson 12 Importance of Breakfast 特殊構文		
		Lesson 13 Languages in West Africa 仮定法		
		Lesson 14 Redevelopment 比較 1		
三 学 期	1	Lesson 15 Global Warming 比較 2	・読解演習を通してまとまった量の英文を読み、時間内に正確に理解し解答する。 ・基本的な英語表現、文法を復習することで基礎力を高める。 ・読解問題や文法問題に使用される各種語彙や表現を復習し、覚えることで語彙力を高める。	・テキストである英語総合問題演習教材を活用し、さまざまな技能の演習、復習を行う。 ・必要に応じてハンドアウト等を活用する。

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

通常の「英語 Communication III」「論理表現 II」の授業では十分にカバーできない内容を主に学習します。基礎的な内容を今一度復習することにより、自分の進路実現のために必要な英語力を高めることができます。高いモチベーションと興味・関心を持って、積極的に取り組みましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	2	3年I類C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Listening Scope Basic(い い ず な 書 店)	ハンドアウト・視聴覚教材など	

【科目の到達目標】 (Course Objectives)

本科目はC型英語コース専門科目として開講される。年間を通して、英語のコミュニケーション能力の向上に重点を置き、主にリスニングの理解力とスピーキングの上達、英語での自己表現ができることを目的とする。プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチの発表、ペア・グループワークなどの様々なアクティブラーニング活動を通して、英語でコミュニケーションをとれる自信をつけて、より良い英語の話し手、聞き手になるための動機付けをする。又、アメリカのさまざまな文化学習と文化体験をし、異文化に対しての知識と体感できる行事を行う。授業内だけではなく、日常生活の中でも積極的に英語を使い、自分の思ったこと、感じていることを自然に英語で表現できるようになる努力を望む。

【評価の観点と方法について】 (Grading Procedure)

本科目の評価は、定期考査の成績、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて行う。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を最重視する。

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評 価・留意点
一 学 期	4	・問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	<Listening Scope Basic Unit 1 ～ Unit 5> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、ディクテーション	・積極的に英語を使っているか。
	5	・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Presentation> 1 minute speech オンライン英会話	・覚えた英文を使いこなせているか。 ・リスニング力が上達しているか。
		中間考査 Midterm Examination		
	6	・問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Listening Scope Basic Unit 6 ～ Unit 9> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、ディクテーション	・グループワークの参加姿勢。
	7	・問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。 ・人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Presentation> 1 minute speech オンライン英会話	Presentation ・英文の正確性。 ・発表の内容。 ・発音、抑揚等の音声要素。 ・英文を暗唱できているか ・発表全体の完成度。
		期末考査 Semester Examination		

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法	評 価・留意点
二 学 期	9	- 問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Listening Scope Basic Unit 10 ～ Unit 15> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、ディクテーション <Presentation> 1 minute speech オンライン英会話	- 積極的に英語を使っているか。 - 覚えた英文を使いこなせているか。
	10			
		中間考査 Midterm Examination		
	11	- 問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	<Listening Scope Basic Unit 16 ～ Unit 20> 本文のリスニング、音読、発音、イントネーション、ディクテーション <Presentation> 1 minute speech オンライン英会話	- リスニング力が上達しているか。 - グループワークの参加姿勢。
	12			Presentation - 英文の正確性。 - 発表の内容。 - 発音、抑揚等の音声要素。
		期末考査 Semester Examination		
三 学 期	1	- 問題タイプ別にリスニングの問題に取り組み、ポイントを理解する。 - 正しい発音、イントネーションで話す。 - 思っていることを簡単に英語で表現できる。 - 人前で自信をもって、自分の思いを英語で発表できる。	副教材を用いてのリスニング、音読、発音、イントネーション、ディクテーション <Presentation> 1 minute speech オンライン英会話	- 英文を暗唱できているか - 発表全体の完成度。
		学年末考査 Final Examination		

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

After having completed a year in the English Course, I am sure that your listening, speaking, and English comprehension skills have improved tremendously. However, I am also certain that each and every one of you has the potential and opportunity to excel even further. I am sure that most of you will continue to study English after you graduate, whether it be at a university, studying abroad in a foreign country or even studying English on your own. Therefore, I hope you will take full advantage of being a part of this English Course in your senior year, and make a concerted effort to use as much English as possible. The work you put in this year will definitely go a long way, and will certainly be of utmost value to you in your future. I look forward to seeing your English improve throughout the year! Good luck!

英語コースの1年間を終えて、皆さんの英語の「リスニング」「スピーキング」「英文理解力」は飛躍的に向上したことでしょう。しかし、皆さん一人ひとりが、さらに上を目指す可能性を持っていることも確かです。皆さんの多くは、卒業後も大学や外国への留学、あるいは独学で英語の勉強を続けることになると思います。ですから、3年生となり、この英語コースの一員であることを最大限に活用し、できるだけ多くの英語を使うように努力してください。この1年間の努力は、必ず自分の将来に役に立って、大きな価値となると思います。一年を通して、皆さんの英語力が向上するのを楽しみにしています！がんばってください！

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	3年・2類・B型	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	ユメタンライティング（アルク）		プリント等

科目の到達目標
日本語の意味を理解し、言い換えてから英作できる力をつける。
熟語のインプットを増やし、アウトプットできるようになる。

評価の観点と方法について
定期考査と平常点（小テスト、課題への取り組み状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。
定期考査はプリントの内容を中心とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一学期	4	レッスン7, 8	【ライティング】 - 相手に内容を伝えられるように書く力をつける。 - アップグレードやプリントで学習した語彙や表現を習得し、英作に用いる。	ペアワーク、発表 和文和訳からの英訳 ストーリーテリング 既習単語を用いての英作
	5	<中間考査>		
	6	レッスン9, 10	【語彙、熟語】 - 日常で使われる表現を覚える。 - これまであまり見かけなかった熟語を覚える。	
	7	<期末考査>		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	レッスン11, 12		
	10	＜中間考査＞ レッスン13, 14		
	11			
	12	＜期末考査＞		
三 学 期	1			
	2			
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

この授業では、英文をたくさん書きます。1・2年で学んできた単語力と文法力が不可欠です。自信がない人は、基礎力がないことを認め、今一度基礎固めに各自で努めてください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	2	3年 3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest English Expression I	Vision Quest English Expression I	

科目の到達目標
1・2学期で最低限の文法項目を学び、3学期からは今まで習ったことを踏まえて「主語」や「動詞」という点に着目して考える。

評価の観点と方法について
テストの点数＋提出物＋授業態度等で総合的に判断する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Vision Quest I Lesson 9	分詞	・分詞の限定用法と叙述用法と叙述用法で使われる知覚動詞と使役動詞	・解説を聞いたあと問題を自ら積極的に解こうとしているか
	5	Option 2 中間考査	準動詞まとめ	・分詞構文 ・準動詞の用法 ・準動詞の完了・否定形、受動態	・ペアワークで積極的に英文を覚えようとしているか
	6	Lesson 10	関係詞	・関係代名詞の主格、所有格、目的格 ・関係代名詞 what ・関係副詞 ・関係詞の限定用法と非限定用法 ・複合関係詞	
	7				

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Vision Quest I Lesson 11	比較	・原級、比較、最上級を使った表現 ・比較級を使った慣用表現	・解説を聞いたあと問題を自ら積極的に解こうとしているか ・ペアワークで積極的に英文を覚えようとしているか
	10	Lesson 12 中間審査	仮定法	・直接法と仮定法 ・仮定法過去、過去完了 ・wish、as if を使った仮定法 ・if を使わない仮定法	
	11	Follow-up 1	修飾語	・副詞表現の形と意味 ・副詞表現の位置	
	12	Follow-up 2 期末審査	動詞の分類	・be 動詞と一般動詞 ・自動詞と他動詞 ・動作動詞と状態動詞	
三 学 期	1	総復習	総復習	・総復習	・解説を聞いたあと問題を自ら積極的に解こうとしているか ・ペアワークで積極的に英文を覚えようとしているか
	2				
	3				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1年生から学んできた文法を整理・理解する。分からなければ1・2年のテキストで復習すること。